

道徳科  
四年  
地域教材

三次市立酒河小学校

## 校章にこめられた思い

これは、酒河小学校の校章です。この校章は、今から五十年以上前の、昭和四十一年に制定されました。図案は、当時六年生だった鍋島史香さん（現 木津田史香さん）が、考えたものが採用されました。山と道を組み合わせて創られた図柄の真ん中に、「小」の字が描かれています。学校のまわりは美しい山で囲まれ、学校を中心として、三つの方向に道が続いている様子をイメージして、創られました。

みなさん、気が付いたでしょうか。

♪ 山ぶとくろに つつまれて……

♪ 三すじの道に 通い来て……

そうです。酒河小学校の校歌の歌詞です。一番と二番の初めの歌詞が表現していることを、校章も表現しているのです。

鍋島史香さんは、今、田幸にお住まいです。どのような気持ちで、酒河小学校の校章を考えられた



のか、お話を聞くことができました。鍋島さんは、ゆっくりとかみしめるように話されました。「小学校六年間の学校生活を、心に思い浮かべながら創りました。『楽しかった』という思い出ばかりでしたよ。一年生から六年生までみんな仲が良くて、休み時間には運動場に出て、にぎやかに遊んでいました。緑の山々に囲まれた酒河小学校。運動場の周りにはたくさんの木が植えられています。春には桜が咲き、秋にはもみじや銀杏が紅葉して、それは美しかったです。一生懸命勉強もしました。学校に通う道は、今のように舗装された道ではなく、砂利道でしたが、それでもステキな道、幸せな道でした。なぜなら楽しい学校に続く道だからです。」

酒河小学校の校長室には、鍋島さんがデザインした校章の原画が、鍋島さんの写真とともに額に入れて、残されています。そこには当時六年生の担任だった鍋島多留夫先生と、木原恵校長先生の言葉も記されています。

山は 独立 自主 創造 友愛 奉仕 協力  
道は 心よく 楽しく がんばる ために

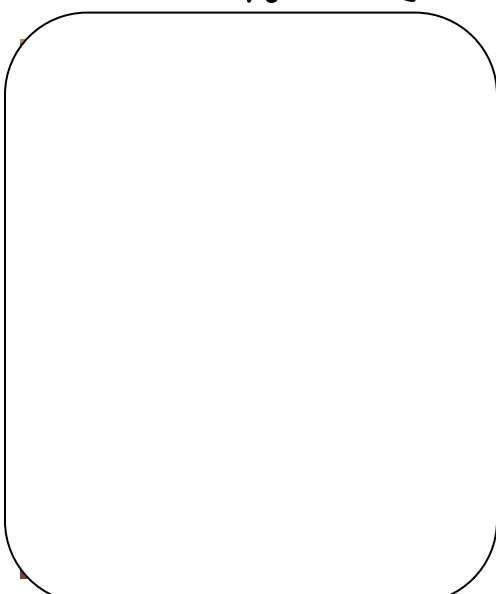


# 小の字は 希望と努力

当時の先生方が、酒河小学校で学ぶ子どもたちに「こんな子どもに育ててほしい」という願いをこめて、記された言葉です。みなさんは、どのように受け止めますか？

「酒河小学校に通うみなさん、夢を持ち、学校生活を楽しんでください。自分のいいところを、しっかりと伸ばしてください。そして、みんなのよさを活かして思い出をむねに、がんばってほしいと思います。」

鍋島さんからのメッセージです。



【取材に協力してくださった人】三河市大田幸町在住 木津田 史香 様

【文責】深田 真規子